

1971年8月7日第3種郵便物認可（毎月6回）1の日・6の日
2012年7月17日発行SSKA増刊通巻第7653号

SSKA

全国パーキンソン病友の会会報 茨城県支部だより

2012年7月17日発行[第89号]



愛宕神社の紫陽花（龍ヶ崎市）

全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒301-0856 茨城県龍ヶ崎市貝原塚町 3552-6

TEL&FAX 0297-64-3546

郵便振替口座 00300-4-38042

Eメール yasuhisa.u@hb.tp1.jp

目 次

- ◎ 平成24年度に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ◎ 第27回定期支部総会の報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◎ 第27回定期支部総会議案書（第1号議案～8号議案）・・・ 5
- ◎ 総会時茨城県難病団体連絡協議会からのメッセージ・・・・・・・・ 16
- ◎ 第27回定期支部総会と講演会・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- ◎ 第27回定期支部総会と講演会に出席して・・・・・・・・・・ 18
- ◎ 友の会と私・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ◎ 病気を思う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- ◎ 「4.11 パーキンソンデー」の国会請願・・・・・・・・・・ 23
- ◎ 第36回全国パーキンソン病友の会全国総会・大会の概要・・ 25
- ◎ 第36回 全国総会・大会に参加して・・・・・・・・・・ 27
- ◎ 第3回誌上作品展の作品の募集・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ◎ 茨城県支部会則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ◎ パーキンソン病関連疾患（茨城県内及び近県）・・・・・・・・ 33
- ◎ 事務局からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- ◎ 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

平成 24 年度に向けて

支部長 植本泰久

全国パーキンソン病友の会茨城県支部は平成 24 年 4 月 15 日に支部結成 27 回目の総会を無事に終えることができました。

これは友の会の運営に日頃からご協力を頂いている役員と会員の皆様のお陰であると感謝しております。

この度、平成 24 年度に向けて気持ちを新たに、友の会発展のため微力を尽くしたいと思っていますので今まで同様のご支援をお願い致します。

さて、ここで現在の友の会を取り巻く問題について取り上げたいと思います。

まず、皆様の第一の関心事である特定疾患の件についてお知らせします。

難病対策について厚生科学審議会疾病対策部会の『難病対策委員会』が始まりました。その中で委員の間から特定疾患の定義の見直しや一定の薬の効果の上がっている疾患について外したらどうかという意見が出ました。

全国パーキンソン病友の会ではいち早くこれらの情勢を見て 5 年前のヤールⅢ外しのような事がないように厚生労働大臣をはじめ各支部の衆・参両議員の方に要請文を出しました。(支部単位で)

また、その他の関連部署にもお願い致しました。

その結果『難病対策見直し』ではいくつかの疾患を特定疾患から外すことはしないようになりました。

今後ともいつ再燃するかも解りませんので注意深く見守っていかなければならないと思っています。

次に地区別交流会の充実を図り、会員増、役員の選出を心がけたい。これは今年も引き続きやって行きたいと思っています。

また、23 年度に会の内部体制を強力にするため規定類整備を行うと挨拶で申し上げました。役員会で会則を検討しましてこの会報の末尾に掲載致します

第 27 回定期支部総会の報告

総括

第 27 回定期支部総会スケジュール

日 時：平成 24 年 4 月 15 日(日) 10：00～15：00

場 所：茨城県総合福祉会館 4 階 大研修室

内 容：10：00～12：00 総会

13：00～15：00 講演会

第 27 回総会は上記通り実施され、滞りなく終了致しました。

総会に先立ち、総合司会の宮部役員の発声で、いつも通り昨年亡くなられた会員に対し黙祷を捧げた後、総会次第に従って総会を開始した。植本支部長の挨拶の後、議長に寺門役員が選出されて、議事に入った。

まずは、1号議案、2号議案、3号、4号、5号、6号、7号、8号と順次報告しながら、会員の質問や意見も聴きながら審議は順調に提案通りに承認されました。そして議長が解任され総会が終了しました。

尚、この会報に、『第 27 回定期支部総会の議案書』を掲載致します。是非一読されて、友の会の活動状況、会費の使用内容、またわれわれを取り巻く社会情勢などもご理解いただいで今後の私たちの療養生活に活かして行きましょう。

午後は後にも書いているような順天堂大学病院、神経内科教授の服部信孝教授による講演会でした。

演題は『**あきらめないパーキンソン病の治療とは**』でした。

冷房が利かない部屋で汗だくになりながら、楽しいお話でした。

いつも通り参加者の方から感想をお願いして、後のページに載せました。感想は人それぞれです。感じ方もいろいろです。参考にしてください。

今年はいつもより総会の参加者も多く、講演会も 100 名以上の参加で盛会に終わりました。

第 27 回定期支部総会議案書

目 次

- 目次 5
- 第 27 回定期支部総会次第 6
- 平成 23 年度活動報告 7
- 平成 23 年度一般会計決算報告 10
- 平成 23 年度特別会計決算報告 11
- 平成 23 年度会計監査報告 11
- 平成 24 年度活動方針 12
- 平成 24 年度一般会計予算 13
- 平成 24 年度特別会計予算 14
- 平成 24 年度支部役員選出 15
- 平成 24 年度新入会員の紹介 15

第 27 回定期支部総会次第

物故者に対し黙祷

- 1、 開会の言葉
- 2、 支部長挨拶
- 3、 議長選出
- 4、 議事
 - <第 1 号議案> 平成 23 年度活動報告
 - <第 3 号議案> 平成 23 年度特別会計決算報告
 - <第 4 号議案> 平成 23 年度会計監査報告
 - <第 5 号議案> 平成 24 年度活動方針
 - <第 6 号議案> 平成 24 年度一般会計予算
 - <第 7 号議案> 平成 24 年度特別会計予算
 - <第 8 号議案> 平成 24 年度支部役員選出
- 5、 議長解任
- 6、 新・旧役員紹介
- 7、 事務局からの連絡
- 8、 閉会の言葉

講演会

時 間 : 13:00 から 15:00

講 師 : 順天堂大学医学部
脳神経内科教授 服部信孝 先生

演 題 : 『あきらめない パーキンソン病の治療とは』

<第1号議案>

平成23年度活動報告

平成23年度は厚生労働省の難病対策委員会では特定疾患の見直しを行うという事になり、全国パーキンソン病友の会ではそれを阻止しようと動きました。

今のところ一時的に静まっておりますが、またいつ再燃するか解りません。今後とも新聞などでも、関心を持って見守りましょう。

一方、茨城県支部では会員さんが安らげるような会にする活動をしたいと思っています。

県南地区の第2回目の交流会は難病相談・支援センターの地域交流事業として取り上げていただき、県の保健予防課から鹿行地区のパーキンソン病の方に連絡を頂き、8組の方が参加されました。

近年、高齢化社会が進み、パーキンソン病は確実に増えていると保健所でお聞きしています。

そのような中、患者さんが悩んでいる事、疑問等は先輩の患者さんがすでに克服していることもあります。

交流会に参加して、意見交換をして参考にできる事があれば参考にしてほしいと思います。

自分一人ではなく友人がいる事がわかると頑張る力も出てきます。

一人で悩まないで会員の皆様と分かち合いましょう。

1、23.4.12～23.4.13

4.11 「世界パーキンソンデー」に国会請願を行う予定であったが3.11の東日本大震災が起こり急遽中止となった。

2、23.4.24

茨城県支部の第26回定期支部総会を行い、茨城県立医療大学附属病院の河野豊先生による記念講演会を開催し、75名の参加を得た。

3、23.6.20～23.6.21

第35回全国パーキンソン病友の会総会・大会が東京都で開催され支部長他7名が参加した。

4、23.7.3

県央・県北地区患者・家族合同交流会を茨城県総合福祉会館で開催し、42名が参加した。

5、23.7.24

平成23年度第1回の県南地区患者・家族の交流会を龍ヶ崎市馴柴公民館で開催し、34名が参加した。

6、23.9.4～23.9.5

関東地区ブロック会議が栃木県主催で、日光市にて開催され、支部長他3名が参加した。

7、23.9.29

常総保健所が石毛福祉センターにおいてパーキンソン病の集まりを開催されて、支部長と他1名が出席し、会員と会員外の人で20名が参加した。

8、23.10.22

パーキンソン病市民講座が水戸プラザホテルにて開催され水戸赤十字病院副院長の小原先生の司会で山口先生が講演された。参加者は80名余りで会員は約20名でした。

9、23.10.23～23.10.24

患者・家族の一泊交流会を大子町の『やみぞ』で開催し、支部長他31名が参加した。

10、23.10.27

全国パーキンソン病友の会から頂いた義援金を被害の受けた方に送金した。

11、23.11.10

日立保健所においてパーキンソン病の集まりがあり支部長と他1名が参加した。22名の参加者（友の会の会員と家族2名含む）でした。

12、 23. 11. 28～23. 11. 29

平成 23 年度全国支部長会議が東京の南青山会館で開催され、支部長他 1 名参加した。29 日には国会請願を行い、議員を訪ねた。

13、 24. 1. 29

平成 23 年度第 2 回県南地区の交流会を行った。これを茨城県難病相談・支援センターの交流事業として認められ、会員・家族 40 名、会員外の患者・家族 50 名の参加を得た。

14、 茨城県難病団体連絡協議会の活動

(1) 23. 5. 15

第 29 回総会が茨城県福社会館で行われ支部長他 8 名が参加した。

(2) 23. 10. 8

難病フェスタが開催され、8 名が参加した。患者は水戸赤十字病院の小原先生による医療相談にも参加した。

(3) 23. 12. 22

茨城県との懇談会が開催され県に 2 点の要望をした。

①、災害時、薬の必要が起こった時、近くの病院や薬局で入手できるようにしてほしい。

② 特定疾患の切り替え時の診断書の費用を県で負担してほしい

15、その他の活動

支部役員会開催		支部だより発行		全国会報発行
4. 3	10. 24	86 号	7. 18	124 号 4 月
5. 22	1. 15	87 号	12. 3	125 号 7 月
7. 17	3. 5	88 号	3. 7	126 号 10 月
9. 11	4. 5			127 号 1 月

<第5号議案>

平成24年度活動方針

- 1、保健所、病院、マスコミ等を通じて未加入潜在患者の発掘に努めると共に、一般社会にパーキンソン病の啓発・宣伝を行います。
- 2、人と人との絆を大切にし、活動を活発化させ遠隔地の方々にも参加を呼びかけます。
- 3、県央・県北・県南の地区活動の推進を計ります。
- 4、全国パーキンソン病友の会、茨城県難病団体連絡協議会との連携を深めます。
- 5、支部会報の充実を計ります。
- 6、病気を理解し、学ぶ姿勢を持ち、自分らしい生活を送り、人生を明るく楽しく有意義にするよう会の運営を行います。
- 7、会員の親睦を計り情報の交換を行うため、一泊旅行を行います。
- 8、会員の実態を把握し、活動に生かすため、アンケート調査を行います。



<第8号議案>

平成24年度支部役員選出名簿

支部長	○	植本 泰久	龍ヶ崎市	県全体担当
副支部長		鹿志村 悟	水戸市	県央地区
副支部長		綿引 義男	笠間市	県央地区
事務局長・会計		植本 純代	龍ヶ崎市	県南地区
事務局員		寺門 正次	那珂市	県北地区
事務局員	○	清水 晴美	石岡市	県央地区
事務局員		吉田 政幸	牛久市	県南地区
事務局員		吉田 妙子	牛久市	県南地区
事務局員	※	加藤 辰男	東海村	県北地区
監 事		宮部 知克	水戸市	県央地区
監 事		宮本 雅夫	ひたちなか市	県北地区

○：茨難連役員 ※新役員

新入会員の紹介

平成23年4月1日～24年3月31日

NO	氏 名	入会日	住 所	NO	氏 名	入会日	住 所
1	下村 清二	4/24	守谷市	15	益子 憲明	12/21	坂東市
2	深谷 邦夫	4/29	水戸市	16	関 恵子	1/4	取手市
3	藤田 礼子	6/16	土浦市	17	秋山 真理子	1/29	神栖市
4	伊藤 力夫	7/3	石岡市	18	則末 次男	1/29	鹿嶋市
5	加藤 辰男	8/12	東海村	19	長谷部 茂子	1/29	鹿嶋市
6	松澤 昭雄	8/15	水戸市	20	大坪 幸子	1/29	つくば市
7	美留町 洋子	9/17	笠間市	21	木村 佑子	1/29	龍ヶ崎市
8	磯崎 ツギ子	10/4	牛久市	22	鈴木 幸二	1/29	阿見町
9	坂本 秀雄	10/22	水戸市	23	福田 勝夫	1/29	土浦市
10	石井 ちよ子	10/22	茨城町	24	本田 浪子	1/29	つくば市
11	内田 嘉博	12/2	水戸市	25	屋代 聡	1/29	龍ヶ崎市
12	木田 幸男	12/5	日立市	26	松原 治	2/5	鹿嶋市
13	稲葉 豊	12/12	坂東市	27	田村 昌吉	2/8	鹿嶋市
14	坂口 優子	12/14	古河市	28	木村 家三	2/24	稲敷市
合 計						28名	

第 27 回総会に茨城難病団体連絡協議会の会長様からメッセージを頂きました。会員の皆様にご披露させていただきます。

これからも会員・家族様と力を合わせて頑張りましょう。

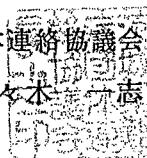
全国パーキンソン病友の会茨城県支部

支部長 植本 泰久様

平成 24 年 4 月 15 日

茨城県難病団体連絡協議会

会 長 佐々木 一志



メッセージ

全国パーキンソン病友の会茨城県支部定期総会開催にあたり、謹んでお祝い申し上げます。

昭和 61 年に設立以来長い間、茨城県内のパーキンソン病患者・家族に援助と励ましを与え続けた貴会の活動は私たち難病の患者団体にとって手本となるものです。

現在、難病患者にとって福祉や医療の制度が厳しい状況にあります。茨難連も含め難病の患者団体の役割が特に重要になっています。

今総会を機にさらにつながりを強め、共に患者・家族の力になれるよう邁進しましょう。

第 27 回定期支部総会と講演会

事務局長 植本純代

平成 24 年 4 月 15 日は 23 年度の活動・決算報告及び監査報告、また 24 年度活動・予算案の発表、役員紹介等を行い参加された会員の皆様から承認を頂きます。

議題ごとに発表して、質問を受け付け支部長や事務局長が回答しました。

この総会は会員様から会費をお預かりして友の会の運営を行っていますので皆様にとってもとても大切なことです。

午後の講演会は順天堂大学医学部、脳神経内科教授、服部信孝先生よる『**あきらめないパーキンソン病の治療とは**』の演題でした。

他では司会をされている服部先生を拝見していましたけれど、講演会をお聞きするのは初めてでした。受け持つ患者さんも 700 名程診察されているというので、患者さんからも多くの情報を集められて、いろいろなことを研究されていると感じました。

お話の中で「レナードの朝」という映画の話が出ました。パーキンソン病で困っていたレナード

が動けなかったときに、エルドパの薬が開発されて、飲んで動けるようになったという物語です。

だいぶ前にアメリカで作られて日本でも上映されました。

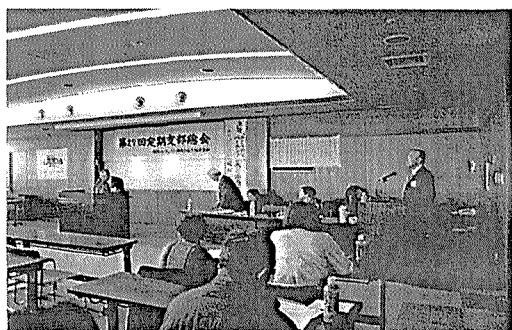
その他やはり順天堂大学の神経内科トップの教授で参考になる病気の事を、わかりやすく、楽しく話されていました。そして薬の効果、副作用についても患者本人がよく知っておく必要のあること、生活の上では『スマイル』を大切にすること、心の持ち方が症状に大きく影響する病気であるからあきらめずに取り組むことなど良く理解できました。

又最近注目されているパーキンソン病の非運動症状について、たとえば、睡眠障害、便秘、幻覚、幻視、幻聴、パチンコなどに入れ込む事などもあるということも知っておき、困った時には主治医の先生に相談することなど。

講演中は居眠りしている人はおられなかったように思いました。講演会は来て下さる先生により多少違っていることもありま

すが、いろいろな先生をお招きしておりますので内容の力点に違いはあります。

主治医の先生の診察と、違った先生の講演会は参考になると思います。



講演会後の質問も時間いっぱいを受けてくださいました。講演会は今までにない参加者で100名を超えました。今後とも会員の参加をお待ちしています。



総会の様子

第27回定期支部総会と講演会に出席して

日立市 尾沼友江

「お母さん、7時だよ！今日は水戸へ行く日じゃないの、パーキンソン病の講演会に。」

4月15日、水戸総合福祉会館へ支部総会と講演会に出席するためです。

午前中は支部総会があり、平成23年度の報告と24年度の活動方針と予算の発表がありました。役員、事務局の皆さんの熱心さとご

苦勞には敬服するばかりでした。

午後は順天堂大学神経内科教授、服部信孝先生による講演で演題は「**あきらめない、パーキンソン病の治療とは**」です。

先生のはじめの言葉は「順天堂大学に名古屋大学から上村先生が来られ、集中治療センターが4月から行えるようになりました。」と明るい声で話されました。

そして身近な薬から注意しなく
てはいけないこと、筋肉トレー
ニングの大切さ（リハビリ）、1
週間に20分2回のしっかり運動、
深い呼吸は腰痛に良く、姿勢が改
善されること、身近な病状等とて
も解り易くお話し下さいました。

最近インシュリンのように
自分で注射する医療もあること
を知りました。正しい知識があれば
病気に対する不安も少なくな
ると思います。そしてハートブル
ーにならないように明るく前向
きにゆき、又新しい薬の研究開発
も進んでいる今希望を持つこと
が大切であることが解りました。

しかし15年ぐらい過ぎると余
病がでることも知っておくこと
が大切です。けれども「15年過
ぎても大丈夫ですよ」と云われる
先生に会えたらうれしいですね
とも話されました。

服部先生の2時間の講演は挫
けそうになる私達への応援だっ
たと思います。

私はこの会に出席してこれか
らも仲間の皆さんと一緒に歩い
て行きたい。そして自分の足と意
志で生きていることを実感して
ゆきたいと思いました。

ありがとうございました。

友の会と私

笠間市 秋山とし子

木々の緑も日に日にまして過
ごしやすい季節になりました。

茨城県支部友の会の会員の皆
様いかがお過ごしでいらっしゃ
いますか。

私は病歴16年、友の会に入会
して9年目になります。症状は嚴
冬の頃より手足の震えが強く、ま
た最近すくみ足の症状も顔を出
し始まりました。

今回は友の会について私自身

の思いを考えて書きました。

入会のきっかけは同病、同美容
院、同町の方からお話を頂き見学
という形で参加し、結果入会しま
した。

その年の全国パーキンソン病
友の会の全国大会は福岡で行わ
れることになっていました。茨城
県支部内だけでも密度が高いの
に全国大会がどのように行われ
るのかすごい興味にとらわれて

ハプニングの末、福岡に行って来てしまいました。これが全国大会のデビューでした。

そこでいろいろ学ばせて頂き感動と充実した時を得て、また友も何人か出来て、その後2回富山県と東京を外して参加しています。一人で行く事も何度かありました。

仕事人間だった私は病名が解るまで時間を要し、転院の形で現在の病院で治療を受けていますが、その時点では一日も早く仕事に復帰したい気持ちで『大変な病氣』なんだから、軽い感じで日々過ごしていました。その結果、独断と偏見で主治医や会社の健康センター長の許可も得ず、退院後2週間で復帰し、無茶苦茶な生活をしていました。ただ定年まで勤めるつもりでしたが身体がもたず、5年程で運良く優遇退職制度を利用し退職しました。

それからです。きちんと病氣と向き合い最低限の知識を持つと頑張りました。そうした状況の中での友の会ですから総会、講演会、交流会、情報の収集など欠席したことは無いぐらいありません。

役員の方々のご苦勞に感謝の気持ちで一杯です。そうした中で

友達の輪を広げられる絶好の機会なのです。

一年に一度しか逢えずとも深いきずなで結ばれているので、それで充分なのです。その上電話、手紙、年賀状など頂けたらもう言う事はありません。

人それぞれ生活環境、立場の違い、心理的要因、進行性などという事をきちんととらえて長丁場を乗り越える工夫をした上、医療、介護福祉などを上手に活用し、一日一日を精いっぱい生きて行きましょう。

友の会は私達障害をもった者にとってなくてはならない存在なのです。

いろいろご事情はあるかと思いますが、来年の総会は一人でも多く参加があるといいですね。

私は6月はじめに北海道へ(若年部会のある会)、そして中頃に広島である全国大会に参加します。どちらも遠くて大変です。

北海道は友が格安の航空便を確保してくれありがたいことです。

広島は新幹線を利用する方が移動が少ないので楽かと思いますが時間はかかります。今時刻表とにらめっこ、でも『世の中、捨てたものではありません』素敵な

出合いが待っているかも知れません。

今回は一人ですので体調を整えて、気を付けて行こうと思っています。

(総会の感想という事でお願いしましたが、日頃考えていることでも良いという事でこれをいただきました。)

病気を思う

牛久市 千葉 登

私の母が筑波大附属病院で白内障の手術(7年前)を受けて、退院する日の道すがら、母の状態を聴いてみると、時々突進の症状があるとのことで、翌日神経内科の吉沢先生のご高診を頂き、「おばあちゃんこれは病気だな」と言われ、パーキンソン病のお薬を処方して頂きました。しかし2~3日服用しましたが、便秘になるということで、薬は飲まずじまいでした。

その後、地元に戻り、岩手県一関市にある国立一関労災病院で飲み込みが悪いので診察を受けましたが、薬は出されなかったようです。

母が一人で生活しているので生活面で大変ではないかと思っておりましたところ、毎日新聞にパーキンソン病友の会、前会長の

清水さんの事が茨城版の一面に載っておりました。ぜひ母の件でご相談しようと思い、自宅まで押しかけました。

さて清水さんはどんな人かなと思い不安になりながらもご自宅の玄関のチャイムを鳴らしました。初めて会った清水さんはとても恐そうだなと思いながら、ご自宅の居間に通されました。そこにはとても優しい奥様がでてこられました。

奥様と2人に色々と相談にのって頂き、その場で入会の手続きをしました。清水さんは不自由な体で入会金の領収書をパソコンを使い作ってくれました。

こんなにお世話になった清水さんに恩返しをしようと思い何年か前の総会の日、清水さんのカバン持ちをしようと思い清水さ

んに寄り添いました。金沢一郎先生に感謝状を贈るときにも転びそうになると金沢一郎先生はそっと手を添えました。

清水さんは車も運転し家庭で理解のある奥様とお暮らしです。私のご自宅にお邪魔をしたときも、何回も転びましたが、奥様はいつさい手をかさないでおられました。これは非常に理解のある奥様しかできないことであります。ほんとうに危険だなと思う時だけ手を貸すとのことでした。奥様は常に明るく清水さんに接していて、いつもにこにこ顔でとても感心しました。パーキンソン病はストレスを受ける事が一番悪いとのことです。

患者に常に笑顔で接することが大事なことだと思いました。

4月15日の順天堂大学病院の服部先生の講演では、根性という言葉が好きであると話しておられました。私も根性という言葉が好きです。

私たち家族は患者の気持ちは、解ろうとすることはできますが、患者にはなれません。患者が今苦しいことはすぐに解りにくいです。何かを考えてそして話し合い、お互いに残りの人生を楽しく歩んでいけたらいいなと思います。

私は母が一人暮らしなので清水さんに相談したところ役場に行って相談しなさいというアドバイス頂き、週3回ヘルパーさんを頼むことができました。また総会や交流会（皆さんが集まる時）に患者が使う便利グッズを（例えば患者さまが立ち上がる時に使う支え棒）などをメーカーに相談して展示して頂くのも良いと思いました。

入会して感じた事は、相談できる友の会の仲間（患者、家族）がいることです。

とても助かります。今後ともお世話になります。



「4.11 パーキンソンデー」の国会請願

龍ヶ崎市 植本純代

総会議案書の活動報告に毎年「4.11 パーキンソンデー」の国会請願に参加したと掲載しています。どのようなことであろうかと思われた方はおられると思います。今回その様子をお知らせします。

「4.11 パーキンソンデー」はパーキンソン病を発見したイギリス人のジェームスパーキンソン博士が誕生した日です。

全国パーキンソン病友の会ではその日に国会請願を行って十年余りになります。昨年はずたまたま東日本大震災で中止となりましたがそれ以外は毎年行っています。

今年は参議院議員会館の101室に午後1時に集まり友の会から3人の訴えを行い、その後、参加された国会議員の方々から力強い応援の言葉があり、また現在の難病にどんな支援をしているなどのお話を聞きました。

参加された議員は玉木朝子（衆・民主）山本博司（参・公明）谷博之（参・民主）三原じゅん子（衆・自民）田村智子（参・共産）高橋千鶴子（衆・共産）塩崎恭久（衆・自民）川田龍平（参・みんな）の8人と他の秘書の方々でした。（こられた議員の順）

2時には集会が終わり、茨城県支部では支部長、吉田さんご夫妻と私で事前にアポイントを取った参議院議員自民党の岡田広先生、衆議院議員自民党の永岡桂子先生（厚生労働省の難病関係の委員）にお会いして会員の皆様から集めた署名を提出してもらうようお願いしました。快く受け取っていただき無事衆・参両院に届きました。

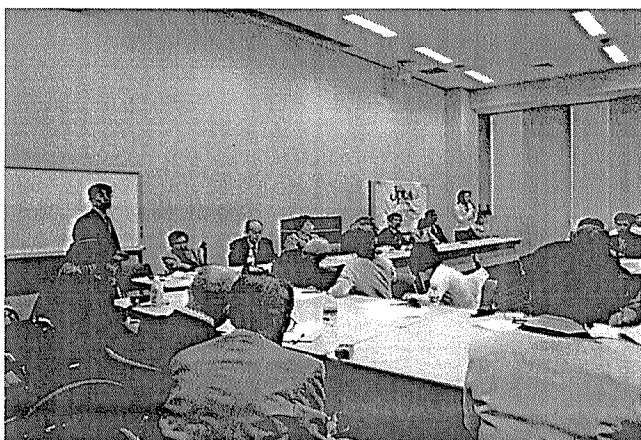
今までは国会議員にお会いしに伺っても国会開催中で留守であったり、門前払いにされて、お会いできることはありませんでした。今年はたまたま問責決議案が提出されていたのでお会いできました。短い時間ではありましたが議員さんは難病に理解を頂いていると感じました。

それが終わると青山にある宿泊所で夕食を兼ねた交流会を行い親睦を計ります。

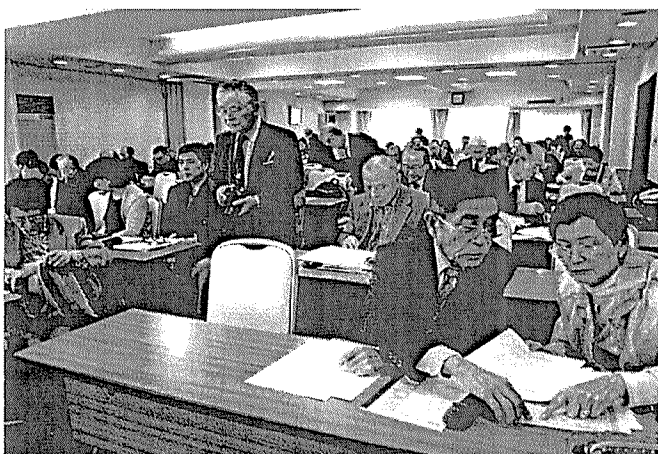
翌日は JPA「日本患者・家族団体協議会」の事務局長の水谷さんの「障害者総合支援法」（4/18 可決した法律）の話がありました。

難病患者を障害者の中に入れるというので多少は良い方向に向いているが見守らないと変更されることもありうるので、油断せずに見守りましょうとのことでした。

12 時までお話がありその後解散となりました。



4/19 参議員会館 101 室



4/20 JPA 水谷さんの勉強会

第 36 回全国パーキンソン病友の会全国総会・大会の概要

(In 広島)

平成 24 年 6 月 18 日(月)～19 日(火)の両日グランドプリンスホテル広島で開催されました。

18 日 13 時から総会があり、各支部の会員数により代議員数が決められ茨城県支部では 1 名でした。支部長が代議員となり審議に臨みました。本部事務局長の一樋さんが説明して、監査・その他も終わり 15 時 30 分でした。

16 時から分科会です。次のように 3 か所に分かれました。

- ① リハビリ音楽療法
- ② 体験談 (NHK テレビで広島では放送されました。)
- ③ 患者と家族の関係を良好に保つためのディスカッション

5 人の参加者はそれぞれに分かれて 17 時 30 分まで参加しました。

夕食を兼ねた交流会は 300 名以上の参加でした。広島県支部独自のアトラクションが行われて楽しいひと時を過ごしました。他支部の方々と話がはずむのもこの時です。20 時 30 分に終わりました。

さて、翌日は今回のメインイベントである京都大学 iPS 細胞研究所の所長であられる山中伸弥教授の講演会が『iPS 細胞がつくる新しい医学』という演題で行われました。

山中教授のお話は謙虚で思いやりのある気持が伝わって来ました。

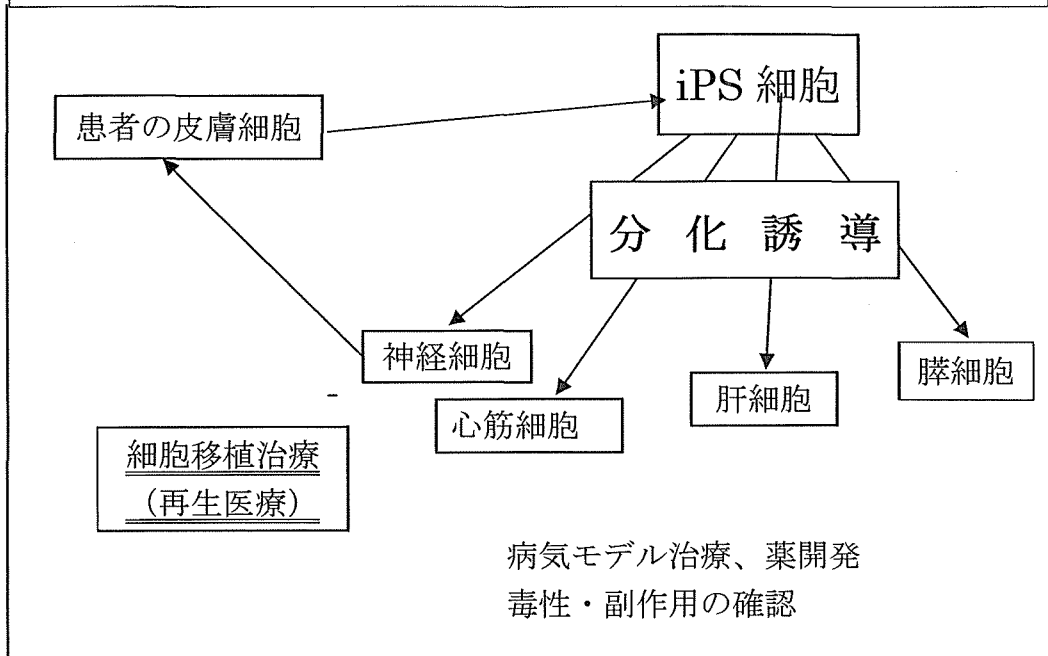
iPS 細胞を作るのにも多くのお金がかかるのでなるべく共同の利用ができるように考えていて、また皆さんにより安心・安全に使えるようにということもまだまだ調べておられます。前号の茨城県会報 (88 号) にカニクイザルでは神経細胞の移植に成功したという新聞記事を載せましたが、山中先生はとても慎重に進めておられるように感じました。

実際パーキンソン病の臨床実験は高橋淳先生が行っておられます。

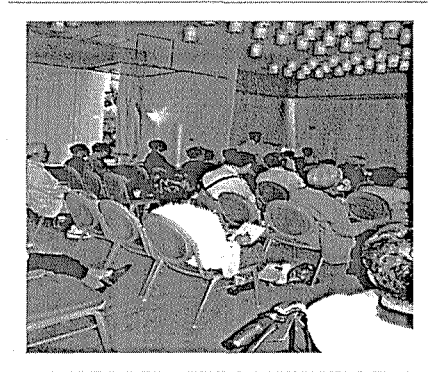
私ども患者は一日も早い活用を期待しています。

尚、iPS 細胞は次の流れになって行われます。

iPS 細胞 : 何ができるか



リハビリ音楽療法



体験談



講演会終了後、参加者で

第36回 全国総会・広島大会に参加して

牛久市 吉田 政幸

全国パーキンソン病友の会総会・広島大会が6月18日・19日の2日間にわたって広島県下で開催されました。時間に余裕があったことから全国総会の最初から参加出来た。昨年の3月11日の大震災の発生以後、強く協調されて来た『絆』に溢れているなど感じる。本会主催の広島県の会員・会員のご家族、そして医療・行政機関との間、所謂人間関係の『絆』が強いと私は感じとられたのです。広島県支部のスローガン『ATM・明るく楽しく前向きに生きよう』通り、実に全体の流れがスムーズで、見ていて小気味良かった。1日目は全国総会・分科会・交流会と続き、2日目はam9時から分科会報告・若年会報告・卓球大会表彰式、そして15分間休憩後am10時半医療講演と行事関係をこなした。

分科会（18日pm4時～）

①リハビリ音楽療法 ②「体験談」16年間の治療日記より ③「ディスカッション」と3テーマに分かれていた。

私は①のリハビリ音楽療法に同じ茨城県支部の秋山さんと一緒に参加した。広島大学大学院・大阪府立大学の先生方によるパーキンソン病患者のために作成されたものです。手足からの軽い運動に始まり途中からダンスの変わったもので負荷をかけ過ぎないようにやれる運動である。最近関節が錆びたように動きが悪くなる時がある。場所を取らずどこでも手軽に出来参考になった。

医療講演会（19日am10時30分～11時45分）

講師 京都大学iPS細胞研究所所長 山中伸弥教授・座長 広島大学大学院 松本昌泰教授によって行われた。薬の副作用でジスキネジアがでる私はiPS細胞の研究者の講演を期待して聴いた。難しい研究の事を私にも分かり易く話して下さった。初めに山中先生は整形外科医だったが手先が不器用で自分より手術が上手な先生方がいらしたから整形外科医はあきらめた。とそれからiPS細胞を発見できた

のは3人の仲間のお陰とスライドで紹介と山中先生のお人柄が伺える話。今現在はマウスの臨床までで人への臨床治験には1千万円係るそうだ。費用面等まだ8年位はかかる。あ～自分は間に合わないか？でも若年性の方々には希望だ。DBS手術をした方もiPS細胞の治療は出来る。じかに研究者の講演を聴き勉強になる。

今回の広島大会は今年の東京大会に引き続き2回目の参加。遠方で飛行機での往復だったが、交

流会では北海道・青森・大阪の方々とお話しをして広島県支部が贈るアトラクションを楽しみ、元気を貰い思い切って出掛けて良かった。19日台風4号が高知県に接近し低気圧のせいか朝から車椅子になったが、広島県支部の方が車椅子を押してくれたり、医療講演の時は最前列で聴けたり良い思いをした。来年の全国大会は静岡なので茨城県支部の会員の方はご都合をつけて参加されるときっと新しい出会いがあると思う。

第3回誌上作品展の作品を募集

第3回作品展を下記の通り行いますので、皆様の作品を出品して頂きたいをお願い致します

掲載会報：会報90号（24年秋号）

募集作品：文芸作品（俳句、川柳、短歌、詩）

美術作品（書道、油絵、水彩画、版画、切り絵、ぬり絵）

手芸、工芸、その他の作品など。

尚、A4サイズ以下の写真でお送りください。

締め切り：平成24年10月31日（水）

送り先：〒301-0856 龍ヶ崎市貝原塚町 3552-6

植本泰久宛

全国パーキンソン病友の会茨城県支部会則

(名称および所在地)

第1条 この会は「全国パーキンソン病友の会茨城県支部」と称し（以下「支部」という）、事務所を支部長宅におく

(目的)

第2条 支部は、茨城県内パーキンソン病患者と家族の交流・親睦の輪を広げ、この病気に対する知識を深め、その習得を支援するとともに、情報収集と医療・福祉・療養生活の充実向上、および社会的啓蒙の推進を図ることを目的とする

(事業)

第3条 支部は、前条の目的を達成するため次の事業を行う

- (1) 医療・福祉関係者の講演などによる勉強会、相談会の開催
- (2) パーキンソン病体操、発声訓練などの患者のリハビリテーション活動の普及と指導
- (3) 療養生活体験者との交流および親睦のための座談会開催と小旅行などのレクリエーション活動の実施
- (4) 会報「支部だより」の発行
- (5) 「茨城県難病団体連絡協議会」に加盟し、難病諸団体と連携した活動の推進
- (6) その他、支部の目的に沿った事業の実施

(会員)

第4条 会員は、支部の目的に賛同し、所定の手続きを経て入会したもの（以下「会員」という）で個人会員と賛助会員とする

- 2 個人会員はパーキンソン病患者とその家族とし、賛助会員は社会的便宜の提供や物質的援助を行うことを希望するものとする。

(会議)

第5条 支部の会議は支部総会および支部役員会とし、支部長が召集する。

- 2 会議は出席会員をもって開催し、議事は出席会員の過半数により決議する。可否同数の場合は、議長が決する。

第6条 支部総会は支部の最高決議機関であって、支部定期総会と支部臨時総会とし、出席した会員をもって構成する。支部総会の議長は支部長が指名する。

2 支部定期総会は毎年おおむね4月に開催し、次の事項を審議決定する。

- (1) 活動報告および活動計画
- (2) 決算および予算
- (3) 支部役員の選出と改選
- (4) 会則の改廃
- (5) その他の重要な事項

3 支部臨時総会は審議すべき重要な事項が生じたとき、または会員の3分の1以上が開催を要求した場合に開催し、提案された事項を審議する。

(支部役員)

第7条 支部に次の役員をおく。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 2名
- (3) 事務局長 1名
- (4) 事務局員 若干名
- (5) 会計 1名
- (6) 監事 2名

第8条 前条の支部役員は支部役員会において選出し支部総会において承認を得るものとする。

第9条 支部役員会は第7条に定める支部役員の過半数の出席をもって構成し、2ヶ月に1回以上開催する。支部役員会では支部長または支部長が指名した者が議長となり、次の事項を審議決定する。

- (1) 支部総会に付議すべき議案
- (2) 支部総会で成立した事項の執行
- (3) 支部運営に必要な事項

第10条 支部役員の任務は次の通りとする。

- (1) 支部長は支部を代表し、職務を総括する。
- (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故ある時は任務を代行する。
- (3) 事務局長は事務の責任者として、その遂行に当たる。
- (4) 事務局員は事務および運営に参画する。
- (5) 会計は会計を担当する。
- (6) 監事は会計内容を監査し、その意見を支部総会に報告する。

第11条 支部役員の任期は1年とし、再任を妨げない。なお、支部役員はその任期を満了しても後任者が就任するまでは、その職務を行うものとする。

(経理)

第12条 支部の経費は、会費、寄付金およびその他の収入をもって当てる。

(会費)

第 13 条 会員は会費として次の通り納入する。

- (1) 個人会員 年額 4,000 円
- (2) 賛助会員 年額 4,000 円
- (3) 入会金 入会の際 500 円 (賛助会員は除く)

(分担金)

第 14 条 支部は毎年「全国パーキンソン病友の会」に運営費用として分担金を納入する。

(会計年度)

第 15 条 支部の会計年度は毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。

(顧問)

第 16 条 支部の諸活動の成果をあげ、患者・家族に対し療養などの指導を行うため顧問をおくことができる。顧問は会員の推挙によって支部役員会で決定し、支部長が委嘱する。

(その他)

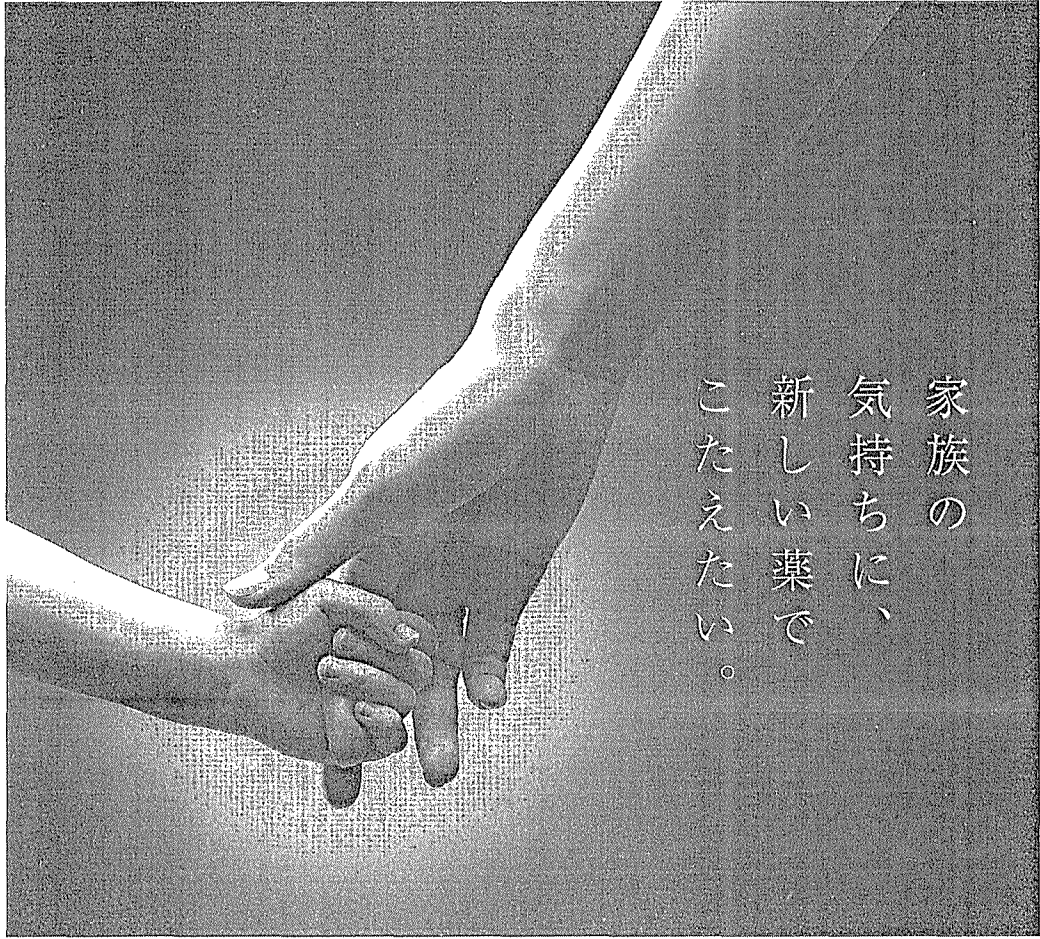
第 17 条 この会則に定めるもののほか運営に必要な事項は、支部長が支部役員会に諮り決定する。

付則

この会則は、昭和 61 年 3 月 23 日から施行する。

この会則は、平成 4 年 4 月 12 日 一部改正する。

この会則は、平成 24 年 4 月 15 日 一部改正する。



家族の
気持ちに、
新しい薬で
こたえたい。

あなたの中から、
気遣う。

あなたのこれからを、
気遣う。

そんな家族の気持ちと同じ思いを胸に、

私たちは、
新薬の研究に取り組んでいます。

必要な薬を、
必要になるかもしれない薬を、

いち早く準備し、
安心と共にお届けできること。

今も、
ずっと先も、

あなたとあなたの家族を支える力になる。

それが私たちの薬づくりです。



大日本住友製薬

www.ds-pharma.co.jp

パーキンソン病関連疾患(茨城県内及び近県)

NO.	医療機関名	住 所	T E L	診断 検査	通院 治療	入院 治療	診療科名
1	医療法人 社団 協栄会 大久保病院	水戸市石川4丁目4040-32	029-254-4555			○	
2	医療法人 清真会 丹野病院	水戸市酒門町4887	029-226-6555			○	内科
3	医療法人 鳳香会 東前病院	水戸市東前2-28	029-240-5101			○	内科
4	水戸共同病院 筑波大学付属病院 水戸地域医療教育センター	水戸市宮町3-2-7	029-231-2371	○	○		神経内科、脳外科
5	水戸赤十字病院	水戸市三の丸3-12-48	029-221-5177	○	○	○	神経内科
6	笠間市立病院	笠間市中央1-2-24	0296-77-0034	○	○	○	内科
7	県立中央病院	笠間市鯉淵6528	0296-77-1121	○	○	○	神経内科
8	石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市栗又四ヶ1768-29	0299-58-5211	○	○		神経内科
9	財団法人 報恩会 石崎病院	東茨城郡茨城町上石崎4698	029-293-7155			○	精神科
10	石塚地方病院	東茨城郡城里町石塚1337	029-288-3121	○	○	○	整形外科
11	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター	東茨城郡茨城町桜の郷280	029-240-7711	○	○	○	神経内科
12	(株)日立製作所 ひたちなか総合病院	ひたちなか市石川町20番1	029-354-5111	○	○	○	神経内科
13	医療法人 慈仁会 川崎病院	常陸太田市木崎二町2040	0294-72-1111	○	○	○	内科、脳外科
14	医療法人 貞心会 西山堂病院	常陸太田市木崎二町931-2	0294-72-5121	○	○	○	神経内科
15	藤井病院	常陸太田市金井町3670	0294-72-5511	○	○	○	内科
16	医療法人 貞心会 慶和病院	那珂市鴻巣3247-1	029-295-5121	○	○		内科
17	久慈茅根病院	日立市久慈町4-16-10	0294-52-2119	○	○	○	内科
18	医療法人 聖麗会 聖麗メモリアル病院	日立市茂宮町841	0294-52-8500	○			脳神経外科
19	田尻ヶ丘病院	日立市田尻町3-24-1	0294-43-2323	○	○	○	内科
20	医療法人 愛宣会 秦病院	日立市鮎川町2-8-16	0294-36-2551	○	○		神経内科
21	医療法人 惇慈会 日立港病院	日立市久慈町3-4-22	0294-52-3576		○	○	内科
22	(株)日立製作所 多賀総合病院	日立市国分町2-1-2	0294-33-0035	○	○		神経内科
23	(株)日立製作所 日立総合病院	日立市城南町2-1-1	0294-23-1111	○	○	○	神経内科
24	医療法人 それいゆ会 高萩それいゆ病院	高萩市上手綱赤塚268	0293-24-0770	○	○	○	
25	やすらぎの丘温泉病院	高萩市下手綱1951-6	0293-24-1212		○	○	内科
26	なめがた地域総合病院	行方市井上藤井98-8	0299-56-0600	○	○	○	脳神経外科
27	医療法人 三尚会 高須病院	鉾田市鉾田2570	0291-33-2131	○	○	○	総合診療科
28	財団法人 鹿島病院	鹿嶋市平井1129-2	0299-82-1271		○	○	内科、整形外科(リハ科)
29	社会福祉法人 恩寵財団済生会 神栖済生会病院	神栖市知手中央7-2-45	0299-97-2111	○	○		内科
30	独立行政法人 労働者健康福祉機構 鹿島労災病院	神栖市土合本町1丁目9108-2	0479-48-4111	○	○	○	神経内科
31	牛尾病院	龍ヶ崎市馴柴町1-15-1	0297-66-6111	○			神経内科
32	龍ヶ崎済生会病院	龍ヶ崎市中里1-1	0297-63-7111	○	○	○	神経内科
33	医療法人 中村会 常総病院	取手市下高井2371	0297-78-8707		○	○	内科、精神科
34	取手北相馬保健医療センター医師会病院	取手市野々井1926	0297-78-6111	○	○	○	神経内科
35	JAとりで総合医療センター	取手市本郷2-1-1	0297-74-5551	○	○	○	神経内科
36	医療法人 西秀会 西間木病院	取手市戸頭1-8-21	0297-78-1101			○	
37	牛久愛和総合病院	牛久市猪子町896	029-873-3111	○	○	○	神経内科
38	医療法人 社団 源守会 会田記念リハビリテーション病院	守谷市同地360	0297-48-6111		○	○	内科、神経内科、リハ科
39	医療法人 社団 光仁会 総合守谷第一病院	守谷市松前台1丁目17	0297-45-5111	○	○		神経内科
40	医療法人 盡誠会 宮本病院	稲敷市幸田1247	0299-79-2114		○	○	内科
41	総合病院 土浦協同病院	土浦市真鍋新町11-7	029-823-3111	○	○	○	神経内科
42	医療法人 社団 誠仁会 都和病院	土浦市西並木町3690	029-824-3434	○	○	○	

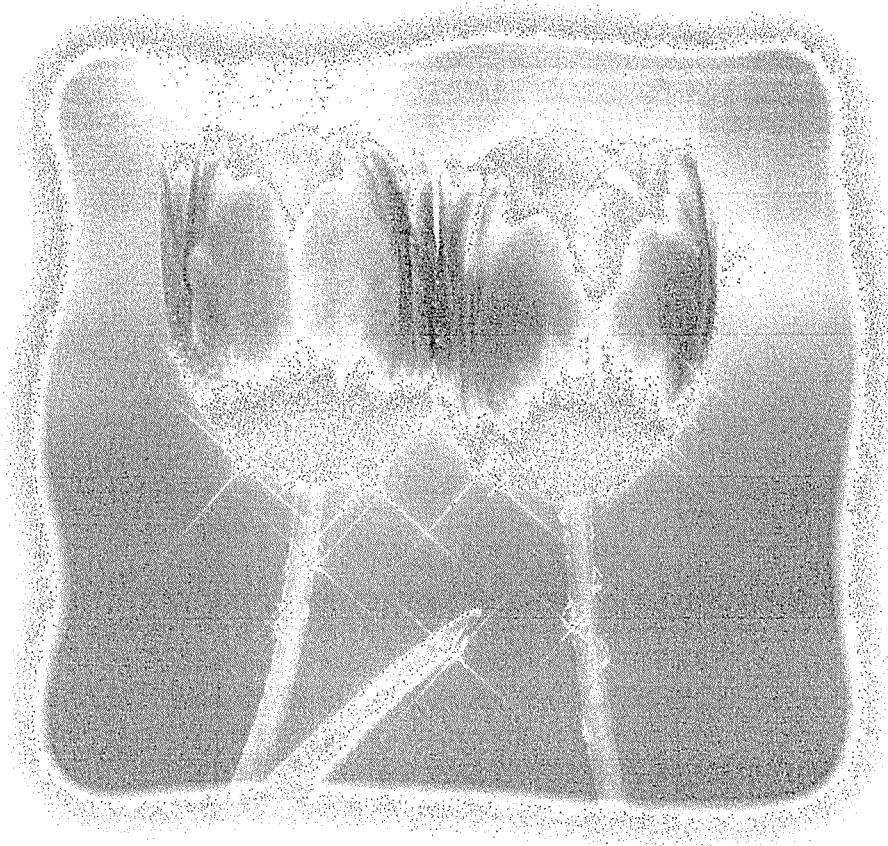
パーキンソン病関連疾患(茨城県内及び近県)

NO.	医療機関名	住所	TEL	診断 検査	通院 治療	入院 治療	診療科名
43	医療法人 重陽会 斎藤病院	石岡市旭台1-17-26	0299-26-2131	○	○	○	神経内科
44	医療法人 新生会 豊後荘病院	石岡市部原760-1	0299-44-3211	○	○	○	神経内科
45	美浦中央病院	稲敷郡美浦村宮地596	029-885-3551	○	○	○	内科
46	県立医療大学附属病院	稲敷郡阿見町阿見4733	029-888-9200	○	○	○	神経内科
47	東京医科大学茨城医療センター	稲敷郡阿見町中央3-20-1	029-887-1161	○	○	○	神経内科
48	いちばら病院	つくば市大曾根3681	029-864-0303	○	○		神経内科
49	医療法人 社団 健正会 荃崎アオイ病院	つくば市天宝喜714-1	029-871-7777			○	内科
50	医療法人 筑波麗仁会 筑波学園病院	つくば市上横場2573-1	029-836-1355	○	○		神経内科
51	医療法人 社団 筑波記念会 筑波記念病院	つくば市要1187-299	029-864-1212	○	○	○	神経内科
52	医療法人 社団 双愛会 つくば双愛病院	つくば市高崎1008	029-873-2511	○	○	○	神経内科
53	筑波大学付属病院	つくば市天久保2-1-1	029-853-3570	○	○		
54	医療法人 社団 桜水会 筑波病院	つくば市大角豆1761	029-855-0777		○	○	外科
55	財団法人 筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院	つくば市天久保1-3-1	029-851-3511	○	○	○	神経内科
56	威恵会三岳荘 小松崎病院	筑西市中館69-1	0296-24-2331	○	○	○	精神科、神経内科
57	医療法人 恒貴会 協和南病院	筑西市門井1674-1	0296-57-5133			○	内科
58	医療法人 恒貴会 協和中央病院	筑西市門井1676-1	0296-57-6131	○	○	○	内科
59	筑西市民病院	筑西市玉戸1658	0296-28-2261	○	○		内科
60	上の原病院	桜川市上野原地新田159-2	0296-75-3128			○	内科
61	平間病院	下妻市江2051	0296-43-5100	○	○	○	内科
62	きぬ医師会病院	常総市新井木町13-3	0297-23-1771	○			
63	古河赤十字病院	古河市下山町1150	0280-23-7111	○	○		神経内科
64	総和中央病院	古河市駒羽根825-1	0280-92-7055	○	○	○	神経内科

近 県

1	福島厚生連 塙厚生病院	福島県白川郡塙町大字塙字大町1-5	0247-43-1145	○	○	○	内科、神経内科
2	医療法人 小金井中央病院	栃木県下野市小金井2-4-3	0285-44-7005		○	○	内科、外科
3	自治医科大学付属病院	栃木県下野市薬師寺3311-1	0285-58-7103	○	○	○	
4	獨協医科大学病院	栃木県下都賀郡壬生町北小林880	0282-86-1111	○	○	○	神経内科
5	医療法人 社団 福田会 福田記念病院	栃木県真岡市並木町3-10-6	0285-84-1177	○	○	○	内科
6	芳賀赤十字病院	栃木県真岡市台町2461	0285-82-2195	○	○		内科
7	獨協医科大学越谷病院	埼玉県越谷市南越谷2-1-50	048-965-1111	○	○		内科
8	キッコーマン総合病院	千葉県野田市宮崎100	04-7123-5911	○			
9	総合病院国保旭中央病院	千葉県旭市イ1326	0479-63-8111	○	○	○	神経内科
10	国保松戸市立病院	千葉県松戸市上本郷4005	047-363-2171	○	○	○	神経内科
11	東京慈恵会医科大学付属柏病院	千葉県柏市柏下163-1	04-7164-1111	○	○	○	神経内科
12	成田赤十字病院	千葉県成田市飯田町90-1	0476-22-2311	○	○	○	神経内科
13	日本医科大学千葉北総病院	千葉県印西市鎌刈1715	0476-99-1111	○	○	○	内科(神経)
14	順天堂大学医学部付属順天堂東京江東高齢者医療センター	東京都江東区新砂3-3-20	03-5632-3111	○	○	○	脳神経内科
15	東京慈恵会医科大学付属病院	東京都港区西新橋3-19-18	03-3433-1111	○	○	○	神経内科、精神神経科
16	東京女子医科大学病院	東京都新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○	○	○	神経内科、画像診断・核医学科
17	東京都立駒込病院	東京都文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	○	○		

茨城県ホームページより掲載



患者さんのために
信頼と愛がいっぱいつまった

藤本製薬グループ

エフピー

株式会社

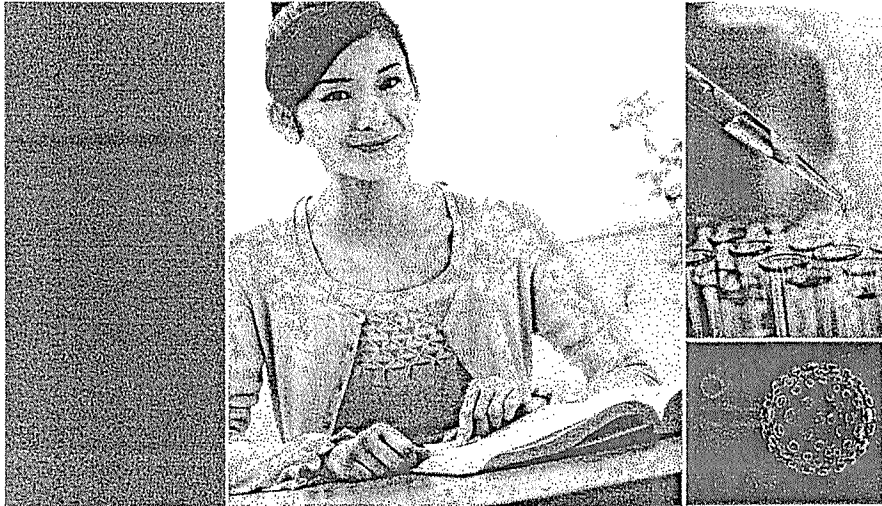
【お問い合わせ先】

〒580-0011 大阪府松原市西大塚1丁目3番40号

TEL:0120-545-427 FAX:0120-728-093

URL:<http://www.fp-pharm.co.jp/>

平成23年5月作成



新薬で人々のいのちと健康に貢献します。

私たちノバルティス ファーマは、

分子標的薬や抗体医薬など最新の技術を生かして、

世界で140もの開発プロジェクトを進めています。

くすりを必要としている患者さんに、革新的な新薬を。

ノバルティス ファーマの新薬は、これからも進化を続けます。

 **NOVARTIS**

ノバルティス ファーマ株式会社
〒106-8618 東京都港区西麻布4丁目17番30号
<http://www.novartis.co.jp/>

事務局からのお知らせ

◎ 秋の一泊旅行

日 時：平成 24 年 10 月 21 日(日)～22 日(月)

場 所：大子町『やみぞ』

今年の旅行は 21 日にはいつも通り学習会及び交流会を行い、22 日には午前中にリクレーションをして、帰りのバスは 12 時に出発し、リンゴ園でお弁当を食べて、リンゴ狩りをして水戸駅に向かいます。(水戸駅 15 時頃の予定となります) 詳細は追って連絡します。

◎ 県央・県北地区合同交流会のお知らせ

日 時：平成 24 年 7 月 22 日(日)10：00～15：00

場 所：那珂市中央公民館 (受け付け開始 9：30～)

那珂市福田 1819 TEL 029-298-5680

会 費：1,000 円 (弁当、茶菓子代)

内 容：10:00～12:00 情報交換

13:00～15:00 白井先生の演奏による歌、オカリナ演奏

◎地区割り

茨城県支部では広いので県央・県北・県南と 3 ブロックに分けて交流会をしています。最近友の会に入会された方は解らないと思ひ表記します。

県 央	水戸市、笠間市、銚田市、桜川市、石岡市、小美玉市、行方市
	かすみがうら市、潮来市、神栖市、鹿島市、大洗町、茨城町
県 北	日立市、北茨城市、高萩市、常陸太田市、常陸大宮市、那珂市
	ひたちなか市、大子町、城里町、東海村
県 南	筑西市、結城市、下妻市、古河市、坂東市、常総市、つくば市、
	つくばみらい市、守谷市、取手市、龍ヶ崎市、牛久市、土浦市、
	稲敷市、八千代町、五霞町、境町、利根町、河内町、阿見町、
	美浦村

1971年8月7日第3種郵便物認可（毎月6回）1の日、6の日
2012年7月17日発行SSKA増刊通巻第7653号

編集後記

平成24年度が始まり、4月15日に第27回定期支部総会も滞りなく終わり、会報発行の時期となりました。

今号は恒例の総会の議案書をいれました。是非ご一読をお願いします。

総会の感想も皆様それぞれに感じていることを書いてくださいました。

支部会則も役員会で検討して入れました。また、総会時にパーキンソン病のお医者様が知りたいという意見が出ましたので『パーキンソン病関連疾患』（茨城県・近県）の病院名を茨城県のホームページから掲載しました。参考にしてください。

今後は会員皆様の体験記、自分史、生活の工夫、苦言、行ってほしいことなど、また、詩、短歌、俳句、川柳、その他の作品、料理レシピ等募集しています。

ご自分の作品の発表の場としてご利用ください。

尚、メールを使われる方はメールでお願いします。（メールアドレスは表紙にあります。）

編集者 全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒301-0856 龍ヶ崎市貝原塚町3552-6

TEL&FAX 0297-64-3546

発行者 特定非営利活動法人・障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧6丁目 26-21

TEL 03-3416-1698 FAX 03-3416-3129

頒 価 500円